

---

---

総社市  
市民アンケート調査  
結果報告書

---

---

平成18年2月

### Ⅲ.これからのまちづくりについて

問4 あなたは、総社市がどんな都市になればよいと思いますか。

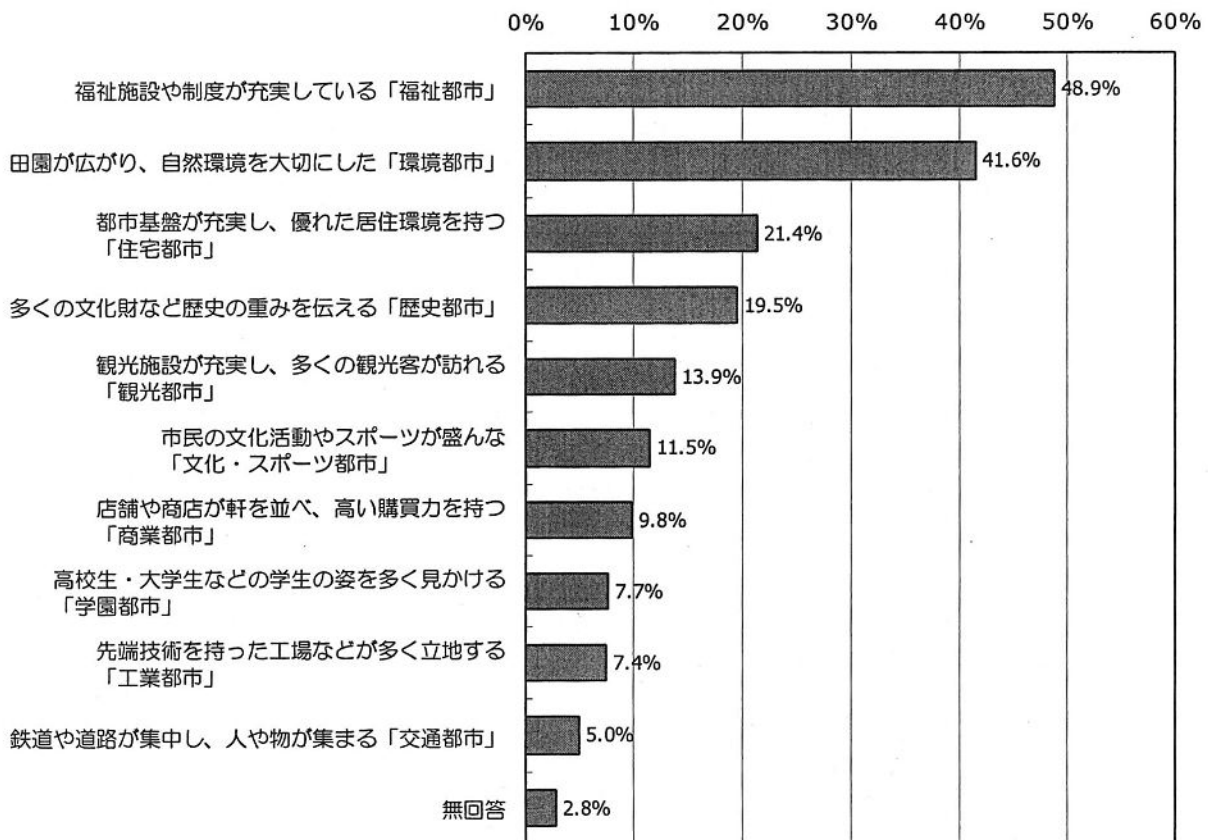
(2つまで○印)

将来の総社市のイメージについては、「福祉都市」が最も多く、48.9%を占めています。次いで、「環境都市」が41.6%となっています。

男女別では、女性で「住宅都市」が第3位になっています。

年齢別では、40歳代・70歳以上で「歴史都市」が第3位になっています。

地区別では、東部で「環境都市」が第1位、「歴史都市」が第3位になっています。



問5 あなたは、市の行政の中で、今後、特に力を入れてほしいと思うことはなんですか。

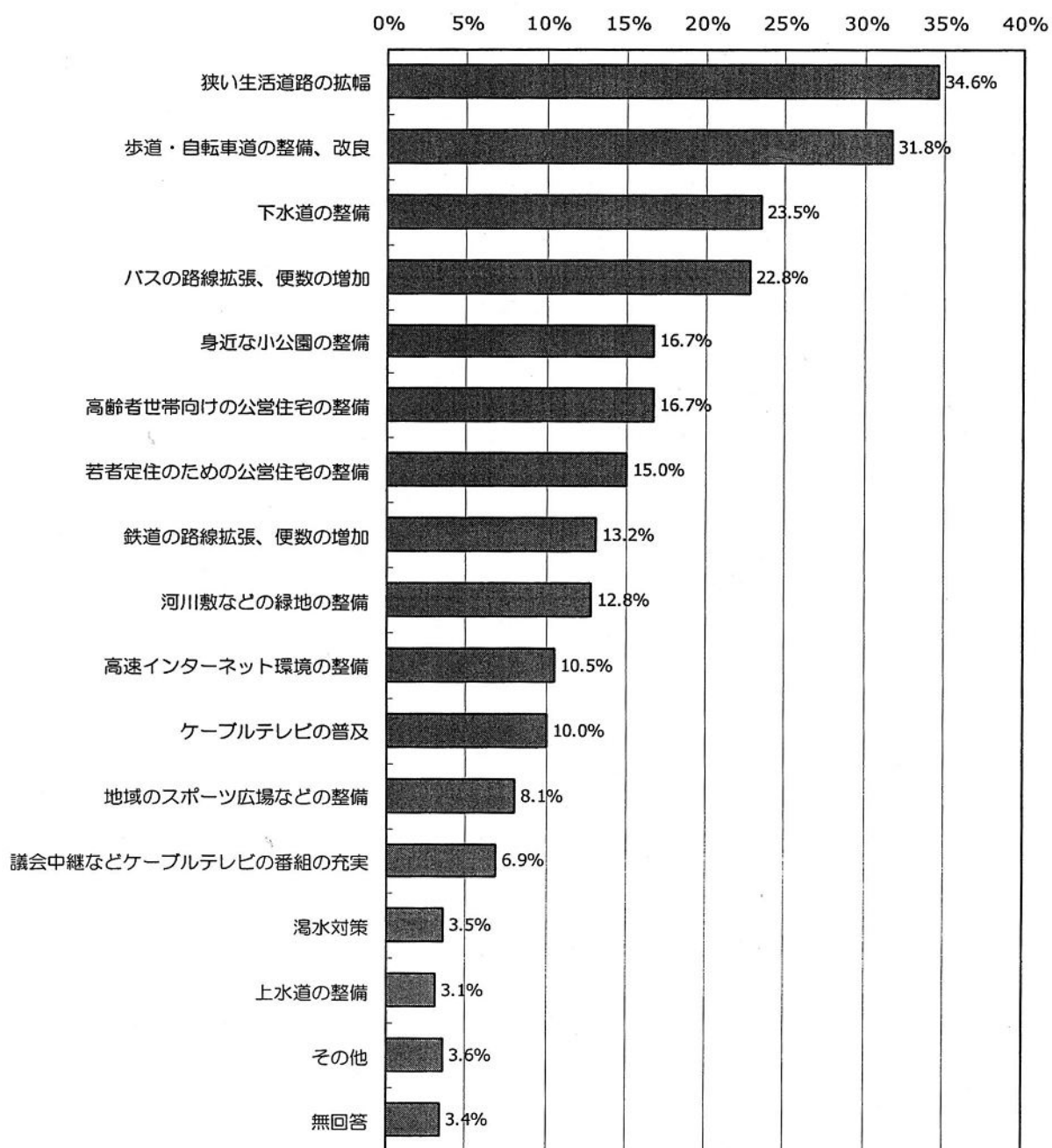
【生活関連】

生活関連に関する施策については、「狭い生活道路の拡幅」が最も多く、34.6%を占めています。次いで、「歩道・自転車道の整備、改良」が31.8%となっています。

男女別では、女性で「バスの路線拡張、便数の増加」が第3位になっています。

年齢別では、20歳代で「鉄道の路線拡張、便数の増加」、30歳代で「身近な小公園の整備」、40歳代・70歳以上で「バスの路線拡張、便数の増加」が第3位になっています。

地区別では、東部で「バスの路線拡張、便数の増加」、南部で「歩道・自転車道の整備、改良」、北部で「下水道の整備」が第1位になっています。



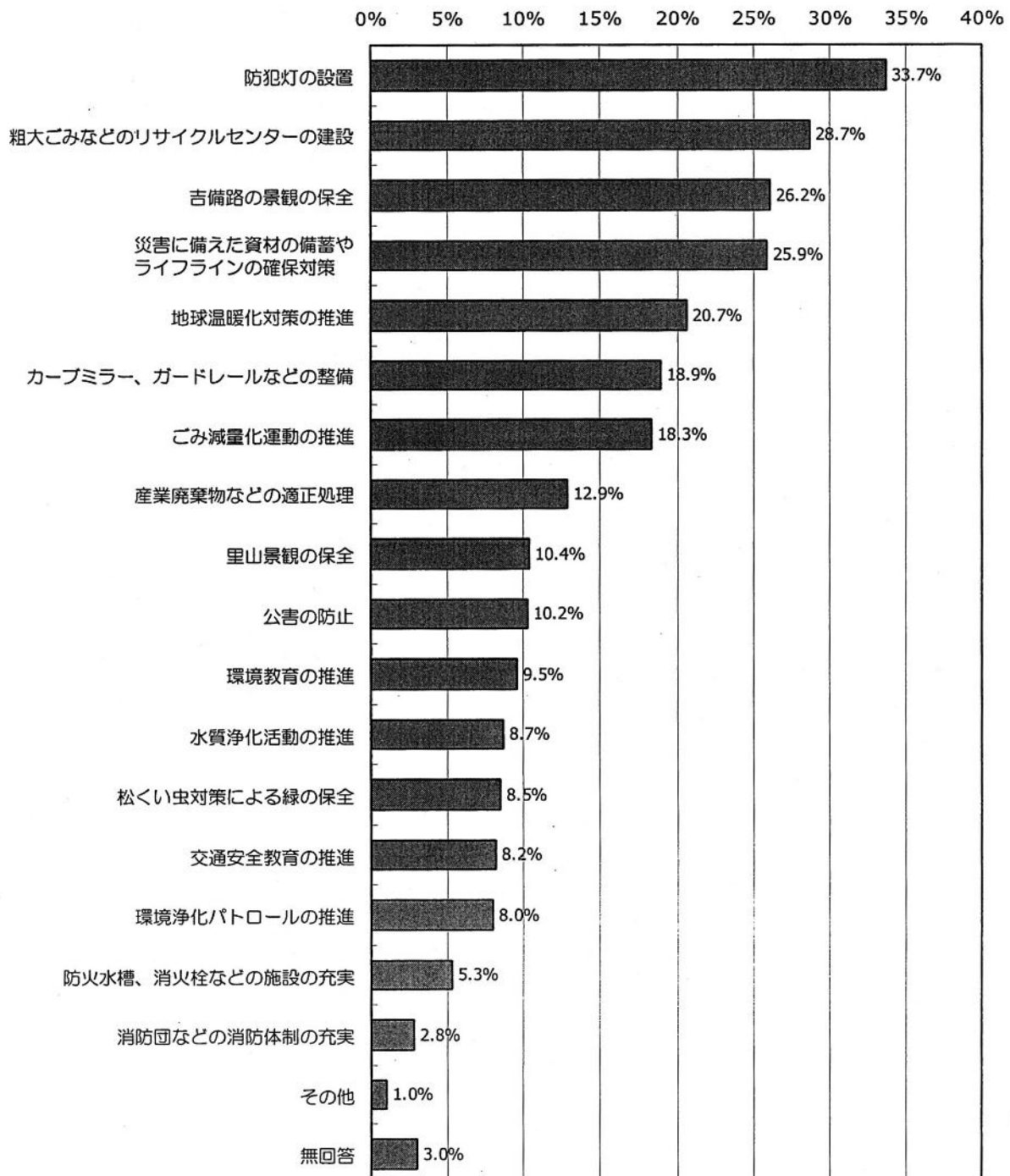
【環境・防災】

環境・防災に関する施策については、「防犯灯の設置」が最も多く、33.7%を占めています。次いで、「粗大ごみなどのリサイクルセンターの建設」が28.7%、「吉備路の景観の保全」が26.2%となっています。

男女別では、男性で「粗大ごみなどのリサイクルセンターの建設」が第1位に、女性で「災害に備えた自然の備蓄やライフラインの確保対策」が第2位になっています。

年齢別では、20歳代～50歳代で「災害に備えた自然の備蓄やライフラインの確保対策」が第3位までに入っています。

地区別では、東部で「吉備路の景観の保全」、北部で「粗大ごみなどのリサイクルセンターの建設」が第1位になっています。



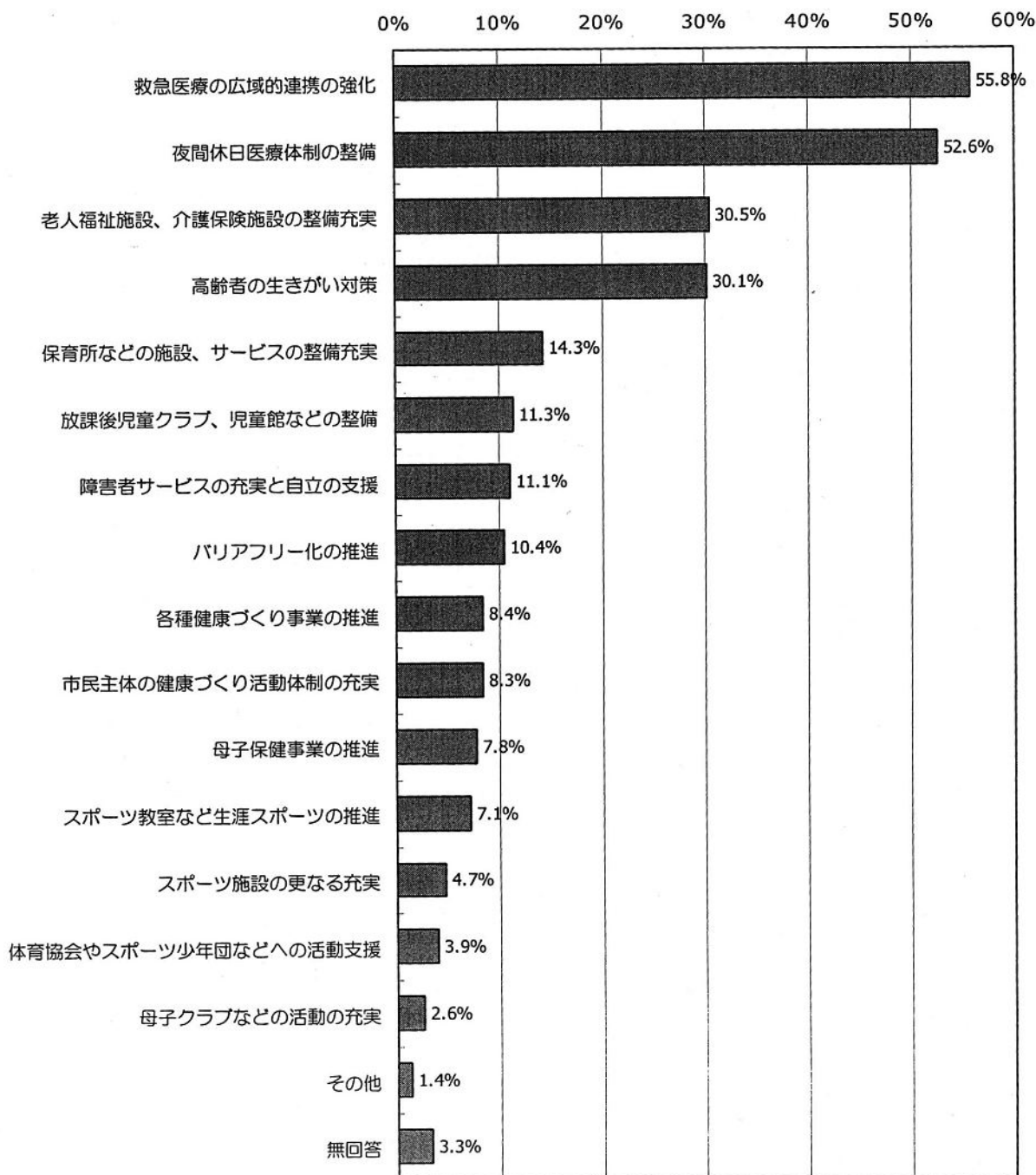
【健康・福祉】

健康・福祉に関する施策については、「救急医療の広域的連携の強化」が最も多く、55.8%を占めています。次いで、「夜間休日医療体制の整備」が52.6%となっています。

男女別では、男性で「高齢者の生きがい対策」が第3位になっています。

年齢別では、20歳代・30歳代で「保育所などの施設、サービスの整備充実」が、60歳代・70歳以上で「高齢者の生きがい対策」が第3位までに入っています。

地区別では、北部で「夜間休日医療体制の整備」が第1位になっています。



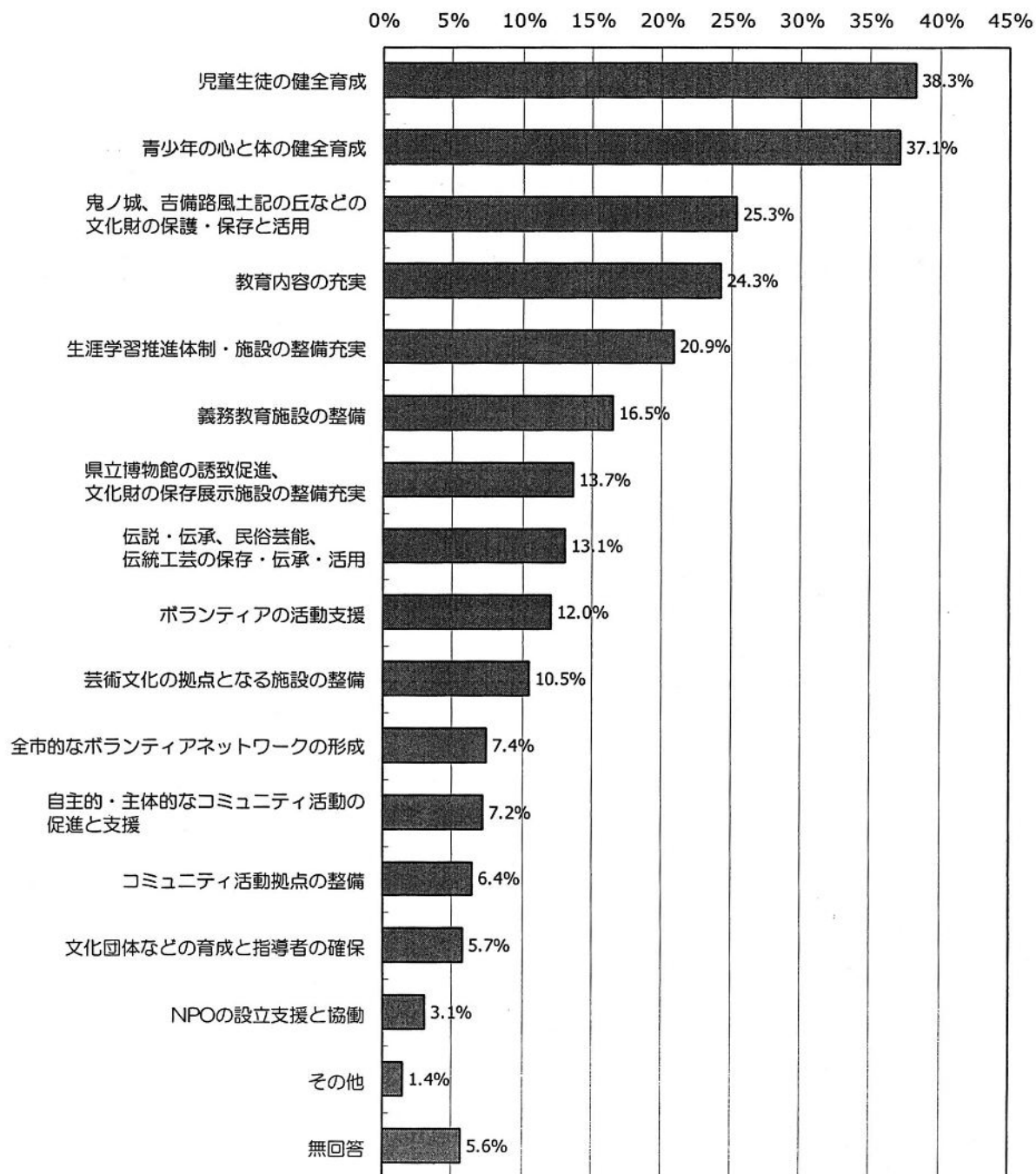
【教育・文化】

教育・文化に関する施策については、「児童生徒の健全育成」が最も多く、38.3%を占めています。次いで、「青少年の心と体の健全育成」が37.1%となっています。

男女別では、女性で「教育内容の充実」が第3位になっています。

年齢別では、20～40歳代で「教育内容の充実」、50歳代・60歳代で「生涯学習推進体制・施設の整備充実」が第3位までに入っています。

地区別では、西部・南部・北部で「挙育内容の充実」が第3位になっています。



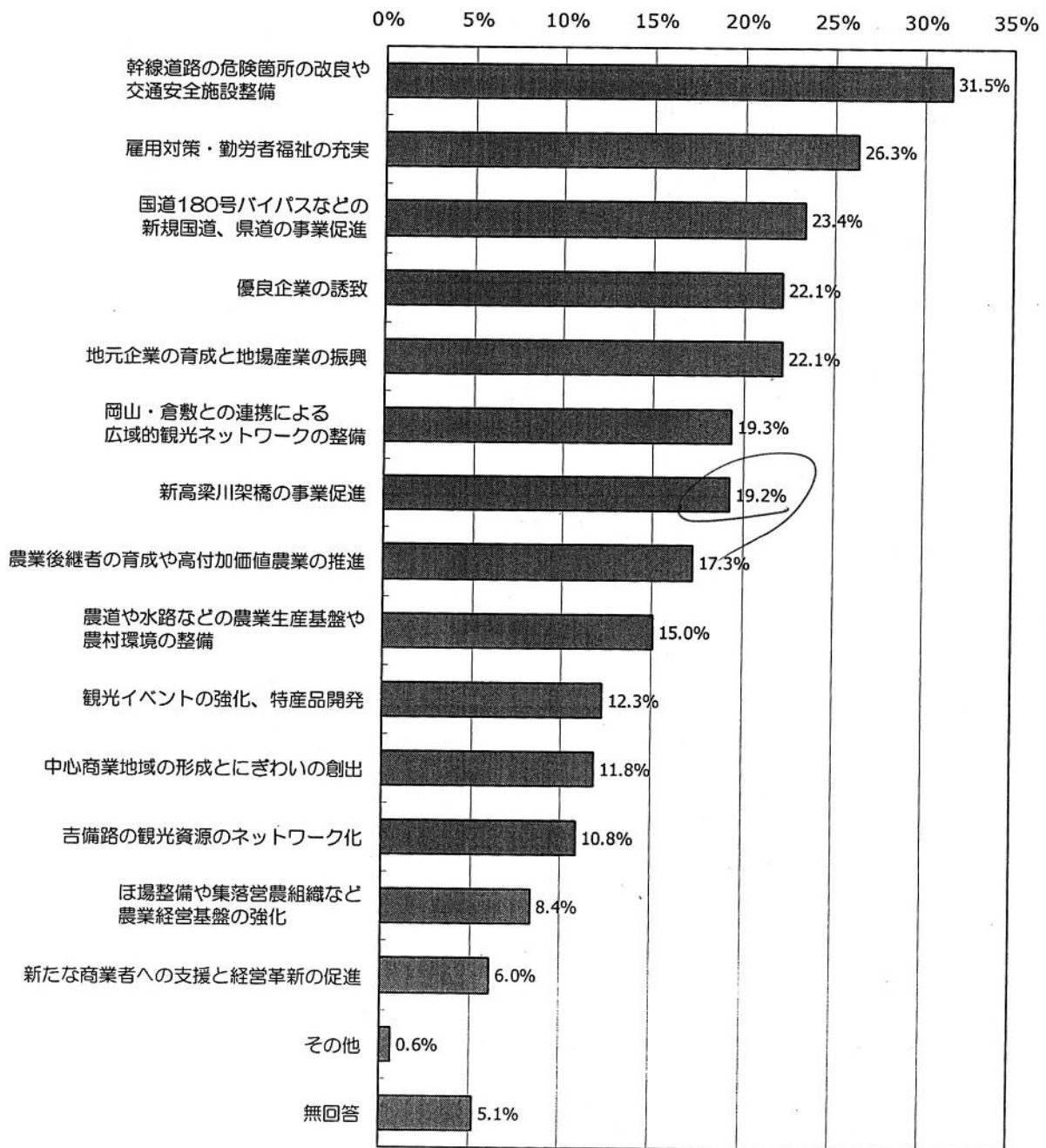
【産業】

産業に関する施策については、「幹線道路の危険箇所の改良や交通安全施設整備」が最も多く、31.5%を占めています。次いで、「雇用対策・勤労者福祉の充実」が26.3%、「国道180号バイパスなどの新規国道、県道の事業促進」が23.4%となっています。

男女別では、男性で「地元企業の育成と地場産業の振興」が、女性で「優良企業の誘致」が第3位になっています。

年齢別では、30歳代・50歳代で「雇用対策・勤労者福祉の充実」が第1位になっています。

地区別では、西部で「新高梁川架橋の事業促進」が第1位になっています。



### 【その他】

その他に関する施策については、「市役所窓口の利用のしやすさ」が最も多く、41.1%を占めています。次いで、「自治活動への補助金の交付」が28.6%、「地域集会所の設置、支援」が23.1%となっています。

男女別では、順位に差はありません。

年齢別では、20歳代で「人権教育・人権相談の充実」、「姉妹都市や交流都市との交流活動の充実」、30歳代で「広報紙の充実」、40歳代で「まちづくり懇談会、市民の声提案箱などの回数の増加」が第3位までに入っています。

地区別でも、順位に差はありません。

